

素直に前向きに

綱竹原屋本店代表取締役社長

五十嵐博子氏



弊社は最上家の家臣であった五十嵐家の先祖が1622年の最上家改易がきっかけとなり、商売を始めました。最初は紅花商人、そして時代の流れと共にガラス製のランプ売り、ガラス工芸品、食器、板ガラスの卸売り、ガラス工事とその都度、世間のニーズを的確に把握して商売を続けてまいりました。

最近では「健康」「環境」を大切にする世の中の流れから、毎日の生活を送る住宅や建物に必要不可欠なガラスを取り弊社にできる事は何かを考え、環境にも身体にも優しい商品やサービスをお客様に提供し、それらを通して地球の環境が守られるように、お客様が「安心」「安全」な生活を送れるよう努めております。

私は日本女子大学を卒業してすぐに山形市へ戻り、金融機関や法律事務所勤務した後、2009年4月に祖父である五十嵐勇次（現・相談役）から「今までのスキルを活かしてほしい」と言

われ、入社致しました。総務の仕事をする一方、銀行との金利の交渉や決算書作成など経理の仕事、採用人事の仕事もするようになる中で総務部長になり、そして今年9月1日、代表取締役社長に就任致しました。

先日、来年4月入社の内定者の方々の内定式を執り行い、これから社会に出て働く上で他人のために動く「利他の心」を大切にしたい、と申し上げました。弊社はチームワークを大切にしております。利他の心を持つと視野が広くなります。困っている人に声をかけて一緒に動き、コミュニケーションをとれば絆が深まり、信頼関係が構築されてより円滑なチームワークが生まれます。

私の信条は「素直に前向きに」です。素直な気持ちでいると、日常生活の色んな所に潜んでいる数多くのプレゼントに気付くことができます。それは「物」だけではなく「言葉」「ありがとう」「素敵ですね」という「言葉」、エレベーターの扉が閉まらないように手で押さええている「行為」、そして「拍手」も素敵なプレゼントです。それらに気付いて素直にありがたく頂戴し「嬉しいな、幸せだな」と思うと、自然に笑顔になり元気をもらえます。プレゼントは、もらったら返すというのが自然の流れです。そのやり取りを繰り返して、積み重ねていくと、人間関係も円滑に穏やかにになります。

「素直に前向きに」という気持ちと「利他の心」は、どちらも広い視野を持っているので、同じところにあるのだと思います。私自身この言葉を大切に、社員とコミュニケーションをとり信頼関係を構築し、今まで以上に「安心」して「安全」に働くことができている職場環境を作っています。特約店として長年お世話になっておりますAGC(株)社様をはじめ得意先様、お取引先様、たくさんの方々より御礼と激励をいただきました。身の引き締まる思いです。これからも社員と共に頑張ってください。どうぞよろしくお願ひ致します。